「できることから始めよう」脱炭素社会を次世代に

北海道沼田町ゼロカーボンシティ宣言

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素（カーボンニュートラル）を目指すことを宣言し、本町も2021年9月の町議会定例会において「北海道沼田町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

この宣言を実行していくためには、町民一人ひとりの理解と協力が必要になってきます。行政・町民・事業者など誰もが「できることから始めよう」を合言葉に、脱炭素社会を次世代に引き継いでいくために今から活動を進めていきましょう。

ZERO CARBON HOKKAIDO NUMATA

行政・町民・事業者が一体となって取り組もう

脱炭素とは？

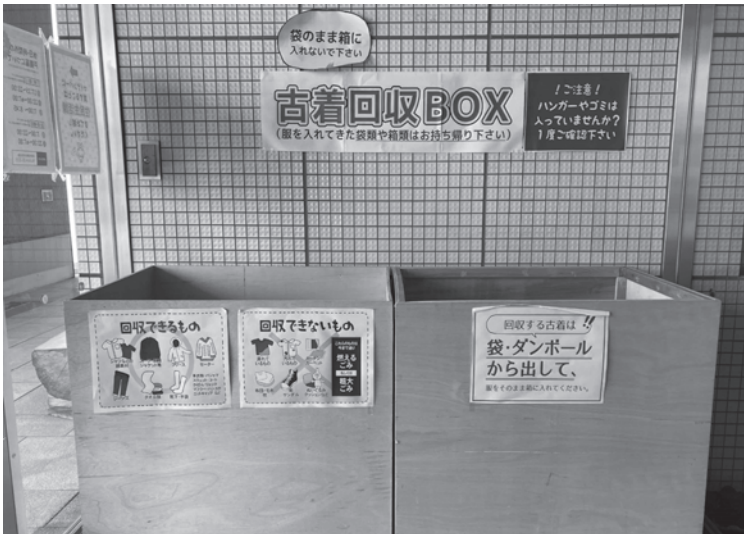
「温室効果ガスの排出を全体としてゼロ（カーボンニュートラル）」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

脱炭素の達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。

なぜ脱炭素を目指すの？

気候変動の原因となっている温室効果ガスは、私たちの経済活動・日常生活に伴い排出されています。国民一人ひとりの衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスが我が国全体の排出量の約六割を占めるという分析もあり、国や自治体、事業者だけの問題ではありません。

カーボンニュートラルの実現に向けて、町民誰もが無関係ではなく、あらゆる主体が取り組む必要があります。未来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会、そして沼田町をつくるため、今から脱炭素社会の実現に向けて、行政・町民・事業者が一体となって取り組む必要があります。



▲衣服等のリサイクルは私たちができる身近な脱炭素活動です

▲沼田町が㈱カネカとの連携で発電実績を調査している再生可能エネルギー（壁面設置型太陽光パネル）の活用

ひとりひとりができること 暮らしを脱炭素化する取り組み

より良い未来と沼田町のために町民一人ひとりができる事があります。例えば、

①エネルギーを節約・転換しよう！
②二酸化炭素の少ない交通手段を選ぼう！
③太陽光パネル、省エネ住宅に住もう！
④ゴミの減量化、食品ロスをなくそう！
⑤リサイクル、リユースしよう！
⑥サステナブルなファッションを！
⑦二酸化炭素の少ない製品を選ぼう！
⑧環境保全活動に積極的に参加しよう！

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。脱炭素に向けてできることから取り組みましょう。

再生可能エネルギー導入に町が支援します！

沼田町では、脱炭素（カーボンニュートラル）を町ぐるみで推進するため、令和４年度に予算措置をしました。

本町ですでに導入されている「雪冷熱」のほか、「太陽光」「太陽熱」「バイオマス」などのエネルギーを導入するご家庭や事業者・企業に対し、導入費の一部を助成する制度を用意しましたのでご活用ください。また、行政も様々な脱炭素活動に取り組んでいきます。

詳しくは左記、もしくは各世帯に配布される「まちづくりハンドブック」をご覧ください。

令和４年度 沼田町の脱炭素関連予算

（町内事業者・法人向け）

■再生可能エネルギー導入支援事業

予算額　2,000 千円

再生可能エネルギー設備を自己消費として事業の用に供するために導入する費用の一部を助成します。

○対象者
・事業経営者（農業者含む）
・町内に事業所もしくは営業所を有する法人（農業生産法人、農事組合法人含む）
・新たに再エネ設備を設置する方

○対象設備
・雪冷熱利用
・バイオマス熱利用
・太陽光発電・太陽熱利用等

○補助要件
熱利用や発電に関係なく、再生可能エネルギーを自己消費により事業の用に供することを目的とした導入設備に限る（売電を目的とする事業は対象外）。

○補助率
・雪冷熱エネルギー　4/5 以内（上限 2,000 千円）
・その他再生可能エネルギー 2/3 以内（上限　〃　）

（個人向け）

■太陽光発電設備奨励事業

予算額　750 千円

自ら居住する持家、又は自ら居住するために建設する住宅、又は同一敷地内に町内業者により新たに太陽光発電システムを設置する費用を一部助成します。

○助成額
・設置費用の 1/4 以内（上限 250 千円）